

# かわさき

第153号

議会だより

令和6年2月1日発行  
福岡県川崎町

安心・安全・防災の要

川崎町消防団



▲令和6年川崎町消防団出初式

## 12月 定例会議

- みならの声聞かせてください ……2
- 議会報告会 ……5
- 10人の議員が登壇 ～一般質問～ ……8

今年度の議会だよりの表紙は、《大好き 川崎町》がテーマです。  
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください  
[お問合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



川崎町議会ホームページ

川崎町議会 検索

QRコードからもご覧になれます▶

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



団員募集中!  
女性団員も!!



# みんなの声



## 第一分団 分団長



中野俊治さん

- ① 火災時の出動  
・ 防災訓練  
・ 消防車エンジン始動  
・ ポンプ操法
- ② 活動に出動多数  
・ コミュニケーションが優秀
- ③ 新入団員が少ない



## 第二分団 分団長



岩丸博重さん

- ① 毎月必ず放水訓練や機械器具点検整備に取り組んでいます。また、防火水槽や消火栓の点検や自主防災組織活動も行っています。
- ② 昭和5年発足の下真崎救護班からの長い歴史と昭和29年に建てられた木造二階建ての消防会館は我が分団にしかない誇りです。団員同士の仲が良く、チームワークがとれている。退団した先輩方の心遣いと協力、また地域の皆様の消防活動へのご理解やご協力にも感謝しています。
- ③ 屋間の火災災害に出動できる団員が少ない。地域人口の減少に伴い団員数の確保が難しくなってきた。



## 第三分団 分団長



品川文彦さん

- ① 三井町営団地が多数の為火災がでると広がりやすい。新入団員には、車両、ポンプ、ホースの継ぎ方など指導。年一度、消火栓、防火水槽の点検
- ② 若い分団員が多い事と班長以上がベテラン
- ③ 消防団員を増やしたい



## 第四分団 分団長



上條公男さん

- ① 消防車定期的な点検、補修  
機械器具の点検、修理
- ② 全員の団結と素早い火災対応
- ③ 団員の新規加入少ないのが悩み



## 第五分団 分団長



戸高広幸さん

- ① 火災の鎮圧はもとより風水害などの災害発生時の警戒。防除等  
・ 管轄区域における水利(防火水槽・消火栓)点検・維持・管理  
・ 春と秋の火災予防習慣中の消化訓練  
・ 毎月第四土曜日に啓発活動を実施
- ② 分団における内部統制  
・ 可搬消火ポンプの操作  
・ 消防団員としての所作
- ③ 団員の減少  
・ 屋間の有事の対応



## 第六分団 分団長



柴田 勇さん

- ① 火災時の出動
- ② 火災対応、火災予防に貢献
- ③ 団員の減少

# 聴かせてください!!

今回は川崎町消防団をインタビューしました。

- ① 日々の活動内容
- ② 分団の自慢・職務への誇り・喜び
- ③ 課題・悩みなど



## 第七分団 分団長



中野正剛さん

- ① 春季火災予防、秋季火災予防、歳末夜警で火の用心を呼びかけています。(田川地区水防訓練や九州ブロック合同訓練などに参加しています)
- ② 町民の為に安心、安全、昼夜出勤し火災を最小限に抑えるように努めています。
- ③ 消防団員(第七分団)の不足



## 第八分団 分団長



近藤勝徳さん

- ① 火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけその地域での経験を生かした消火活動、救助活動。行方不明者の捜索、防犯パトロール(春・秋・冬)、防火水槽の点検など。
- ② 自慢: 本人の意思により、20代~60代までの幅広い年齢層が27人所属していること。誇り、喜び: 地域の人々と顔見知りになった点、消火活動に従事し活動の重要性を感じる事ができること。
- ③ 団員数の減少と団員構成の変化や高齢化が消防団の運営に影響を及ぼし、活力ある消防団の確保をいかに図っていくかが切実な課題となっている。



## 第九分団 副分団長



柴田 功さん

- ① 1ヶ月、1回防火水槽、消火栓、点検、地域の山林の見回りをしている。
- ② ・川崎町民の生命と財産を守り抜く勇気と力を持ち職務を全うしている。  
・町民のみなさまと、災害防止を務め、大きな災害が起きない事が喜びです。
- ③ ・九分団格納庫の老朽化  
・団員の駐車場の確保ができない。



## 第十分団 分団長



寺田裕隆さん

- ① ・災害時の出動  
・ポンプ操法訓練  
・防災訓練
- ② ・災害時の団結力と結束力が強い
- ③ ・団員不足  
・ポンプ等の設備修理対応(遅い)  
・各家庭での消火器の設置率が低い



## 本部分団 分団長



竹下ひろ子さん

- ① 1月出初式 寒中本部分団参加。春、秋全国火災予防運動、夜間は町内広報活動をします。12月歳末夜警、行方不明者の捜索活動、R5年度救急救命の講習受講
- ② 上は70才代から下は30才代一丸となり消防活動に励み年長者の私を支えてくださった団員の皆様を誇りに思いとても良い分団です。
- ③ 団員の減少が一番の悩みです。1人でも入団をお願いします。(男性消防団と違い、火災現場への出勤はありません)川崎町発展火災のない町を願っています。

## 補正予算

### ●一般会計

補正前の額	補正額	補正後の金額
128億5,462万円	3億7,143万円	132億2,605万円

◆住民税非課税世帯等に対する価格高騰緊急支援事業 …… 2億9,050万円

### 特別会計

◆学校給食センター

補正額
21万円

◆国民健康保険

補正額
70万円

◆後期高齢者医療

補正額
25万円

### ●災害復旧事業の受益者分担金に係る条例改正



改正前

災害復旧に係る費用の受益者分担金に関わる条例は「川崎町農林水産施設等災害復旧事業」という総称でまとめていました。

改正後

①農業用施設災害復旧事業、②農地災害復旧事業、③林地崩壊防止事業、④治山事業、というように事業別に分けて明確に文章化しました。

### ●農業土木事業に係る受益者分担金条例改正



改正前

農業土木事業に係る受益者分担金の減免は、土地他の無償提供があった場合に限っていました。

改正後

今後は、想定外の様々な原因、理由によることが考えられるため、無償提供の他に、町長が特に必要と認めた時にも減免出来ることにします。

### ●スマホで印鑑証明



#### 印鑑条例改正

国の法律が改正され、マイナンバーカードの機能がスマートフォンに搭載可能になりました。この条例改正よりマイナンバーカードに紐づけされている印鑑証明書もコンビニでスマホを使って交付が受けられるようになりました。

Q & A

〈主な質疑〉

Q アイフォンでもできるの？

A アンドロイドのみです。国はアイフォンへの導入も検討中ですが町単独での導入は難しい。



# 令和5年度



# 議会報告会



日時

**2月22日(木)**  
午後7時より

場所

**コミュニティセンター  
1階多目的ホール**

※閉会は午後8時45分を予定しています

報告  
方法

**総務・民生文教・建設産業の3つの委員会ごとに  
報告を行います。**

**多くの皆さまのご参加をお待ちしています。**

**発****議**

## 繁永議員の議員辞職勧告に関する決議 …賛成多数で可決



### 提出の趣旨

川崎町政治倫理条例に規定する「町の工事等に関する<sup>じゅんしゅ</sup>遵守事項」に違反する行為があり、これは議会に対する町民の信頼を失墜させた。議会議員としての政治的、道義的責任は極めて大きい。

### 賛成意見

- ・町の工事に関して辞退していればほかの業者が仕事をとれていたはずで、それを阻害したことは重大である。
- ・議員自らつくった政治倫理条例を軽視する態度は責任重大である。

### 反対意見

- ・議会運営委員会で本人から改める旨の説明があったにもかかわらず動議が出ることに合点がいかない。
- ・中身が精査されておらずはっきりとしたことがわからない状態で賛成はできない。

※P7の賛否結果を参照

川崎町政治倫理条例第17条第1項の規定に基づき、同条例第3条第1項第3号に規定する契約の辞退届け(有限会社 DS.Company)の提出がありましたので、同条第4項の規定により公表します。

## 議会改選期の議員研修会を開催

### 研修事項と内容

#### ○「議会基本条例」

議会は直接選挙で選ばれた議員によって構成される町政の決定機関。

議会と町長は、ともに町民の信託を受けて活動し、住民の意思を政策に反映させるため競い合い、協力をしながら街づくりを進める。

- ・公共性と透明性を確保しつつ、町民に信頼される品格と存在感のある議会を築く。
- ・議会は豊かなまちづくり実現の効率化のため「会期を通年」としている。
- ・議会は町民に対し積極的に情報を公開し、町民の参加と連携を深めるため「議会報告会」「議会住民団体懇談会」を開催し常に開かれた議会を目指す。

#### ○「政治倫理条例」

議員は町民の代表者としての倫理性を常に自覚し自己の地位に基づく影響力を不正に行行使することによって町民の疑惑を招くことがないよう行動する。

- ・建設土木、燃料、事務用品等、町と契約を結ぶ事業の代表者は議員の1親等の者、或いは同居の親族はこれになる事は出来ない。
- ・議員は年に一回「資産報告」を提出し審査を受け、町民に公表する。

# 令和5年度 第5回川崎町議会(12月定例会議) 議案一覧と賛否結果

区分	案件	内容	賛否の結果														
			千葉	寺田	川根	中山	政時	山下	樋口	櫻井	手嶋	繁永	松田	杉本	見月	松岡	手嶋
報告	町立病院の令和4年度の業務実績に関する評価結果	評価委員会による町立病院の各業務の実績評価結果を報告するもの	報告のため採決はありません														
条例	町長、副町長、教育長給与条例の一部改正	人事院勧告に伴う条例の改正	(可決) 簡易表決														
	一般職職員の給与に関する条例の一部改正		(可決) 簡易表決														
	会計年度任用職員の給与、費用弁償に関する条例の一部改正		(可決) 簡易表決														
	印鑑条例の一部改正	P4を参照	(可決) 簡易表決														
	町立幼稚園設置条例の廃止	町立幼稚園の閉園に伴い条例を廃止するもの	(可決) 簡易表決														
	農林水産施設等災害復旧事業に係る受益者分担金徴収条例の一部改正	P4を参照	(可決) 簡易表決														
補正予算	一般会計	P4を参照	(可決) 簡易表決														
	特別会計(給食・国保・後期高齢)	P4を参照	(可決) 簡易表決														
発議	繁永議員の議員辞職勧告に関する決議	P6を参照	●	○	○	○	●	○	○	○	○	断	○	●	○	●	○

賛否表の表示は、○…賛成、●…反対、⊗…欠席および退席となっています。  
 ※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

## 議会日誌

10月	11月	12月
31日 議会運営委員会	28日 議会運営委員会	<b>第5回川崎町議会(12月定例会議)</b>
<b>常任委員会</b>	<b>常任委員会</b>	5日 本会議・全員協議会
3日 建設産業常任委員会	2日・24日 建設産業常任委員会	6日 委員会(総務・民生・建産)
12日 総務常任委員会・議員研修	6日～8日 民生文教常任委員会視察研修	7日 議会運営委員会
13日・20日 広報広聴常任委員会	14日・24日 民生文教常任委員会	8日 本会議・議会運営委員会・広報広聴常任委員会
17日～19日 建設産業常任委員会視察研修	17日 総務常任委員会	12日 予算決算常任委員会
20日 民生文教常任委員会		13日 本会議(一般質問)
25日～27日 総務常任委員会視察研修		14日 本会議(最終日)
		<b>常任委員会</b>
		25日 建設産業常任委員会

**議会の傍聴**  
 においでください  
 ……………  
**次回定例会予定**

- ◎3月 5日…本会議(初日)
- ◎3月 8日…本会議(中日)
- ◎3月15日…本会議(一般質問)
- ◎3月18日…本会議(最終日)

## お詫びと訂正

前号(第152号)の表紙並びに裏表紙で紹介しました坂本さんの名前を間違えておりました。

**誤** 坂本 公時 さん

**正** 坂本 公司 さん

お詫びして訂正いたします。

# 一般質問 よりよいまちづくりを めざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。

町政を  
問う！！



町長 高橋 喜久美

## 問 一般競争入札できなかったのか

答 環境省の補助金活用のため公募型プロポーザルとした

動画は  
コチラ



議員

令和4年度川崎町地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備導入推進事業について、公文書開示請求資料では業者選定は本町が公告した内容によりグループ構成で公募しましたが、設置要綱もなく審査し業者を決定しています。代表者(株)ハッセイ、構成員(株)楠山設計、パナソニック(株)、パナソニック環境エンジニアリング(株)となっておりますが、契約書は(株)ハッセイ1社との契約です。また、パナソニック環境エンジニアリング(株)と(株)楠山設計は受注者側のグループ構成員

なのに下請業者になれるのか。

町長

グループ構成の契約ではなく(株)ハッセイ1社との契約となっており、(株)ハッセイに請負金額を払い下請にパナソニック環境エンジニアリング(株)、(株)楠山設計へどのような形で支払ったか存じていない。

議員

告示時に設計提案上限額7億7902万円が決まっていれば公募型プロポーザルでなく、一般競争入札で業者決定ができたのでは。

町長

環境省の補助金を活用するためには、環境省より

定められた高い技術能力等をする事業者を選定する必要があったため、公募型プロポーザルを実施した。

また、同じ補助金を活用した他の自治体においても、同様に公募型プロポーザルを採用している。

議員

町の検査員は土木、建築、電気等の技術に精通した経験豊富な検査員と思いますが、検査員の経歴は。

防災管財課長

検査員の経歴については、承知していない。



議員 手嶋 真由美

## 問 HPVワクチン接種勧奨の周知を

答 再度、接種勧奨の通知をする

動画は  
コチラ



議員

令和4年度に、HPVワクチンの積極的勧奨が再開、3年間の期間限定でキャッチアップ接種が設けられた。将来の子宮頸がん罹患を減らすためには、この機会に接種を進める必要があるが、本町の対応は。

健康づくり課長

令和4年4月5月にキャッチアップ接種の対象者の方全員に案内通知を送付しています。令和5年に追加された9価ワクチンについては、再度通知はしていない。

議員

令和6年度末にキャッチアップ接種が終了します。接種対象者が3回を公費で接種完了するには、令和6年9月末までに初回接種を開始する必要があります。子宮頸がん積極的勧奨の差し控えの影響を受けた世代にとってのラストチャンスとなるが対応策は。

健康づくり課長

キャッチアップ接種対象の方には、改めて接種勧奨の通知を送り、その中に9価ワクチンについての説明を同封したいと思う。



他に男性のHPVワクチン助成・ハラスメント防止対策・不登校COCOLOプランについて質問しました。

動画は  
コチラ



## 問 利用しやすいふれあいバスの運行活用を 答 提言や意見も検討し計画づくりをしたい



かわね せつお 議員

**議員** 利用目的の高いものはどの様なところか。

**防災管財課長** 利用客の多くは通院や買物に利用される方です。

**議員** 今年7月の川崎町公共交通計画アンケート調査の結果は。

**防災管財課長** 調査した1300人の回答から内容を集計し結果をHPに掲載する。

**議員** 西本町団地に新規のバス停をとの声があるが町長の考えは。

**町長** 住民の生活に即したバス停という様々な要望など協議し地域公共交通会議で話し合う予定である。

**議員** スタンド式バス停に改善出来ないか。

**町長** 多くの要望があり敷地の確保が出来るところから取り組んでいきたい。

**議員** ふれあいバスを利用し町内で買物をした時、乗車無料券を発行するお得な乗り継ぎ制度は出来ないか。

**町長** すぐに実施は出来ないが将来に繋がる提言や意見も考慮して計画したい。

### 問 こども園の開園への進捗状況は

**答** 来年4月の開園は順調

**議員** 開所時間は認定区分で違うのか。

**福祉課長** 標準保育時間は11時間。幼稚園は9時半から2時半ま

でだが、預かり保育も可能。

**議員** 定員が80人を超えた場合、何人まで受入れられるのか。

**福祉課長** 保育士の数が限られる。編入できるかは検討が必要。

**議員** 保育教諭資格が必要だが、資格者はいるのか。

**福祉課長** ほとんどが資格を持っており運営上問題はない。

**議員** 幼稚園教育の定員が10人より増えた場合の対応は。

**福祉課長** クラス面積の制限があり、今の面積では23人が上限なので十分対応はできる。

他に来年入園予定者数について質問しました。

動画は  
コチラ



## 問 De・愛の移動販売車の活用は 答 活用していく



てらだ ひびき 議員

**議員** De・愛の移動販売車（2台）は現在稼働していません。今後の方針は。

**町長** なかなか採算がとれないということで現在中止になっている。町も何とかこの2台を活かした地域づくり、出荷者組合の一つの事業として取り組んだらどうだろうかと考えています。



### 問 大ケ原の遊休農地を活用する農業施策を

**答** 農業振興計画を見直す

**議員** 遊休農地解消緊急対策事業を活用し、安真木地区（特に大ケ原の遊休農地）の農業政策が重要と考える。今後の施策は。

**町長** 川崎町農産物生産拡大検討会議を開催し、川崎町の農産物の生産拡大を実行するために農業振興計画を今回見直ししていく。

### 問 不法投棄、ごみのポイ捨て対策は

**答** 故郷を守る心を育てていく

**議員** 抑制効果の高い監視カメラの設置や看板の設置、子どもたちへの環境意識の向上のための教育が必要だと感じる。環境問題についての町長の考えを問う。

**町長** 監視するところは監視する。一番大切なのは、ふるさとをきれいに守っていく、心を育てる、そういったことが大切なので、常に機会あるごとに町としても発信していきたい。



**問** 長期休業中の子育て世帯への対策は  
**答** 定期的に訪問をして対応

動画は  
コチラ



**議員** 夏季等の長期休業中の子育て世帯の状況把握と支援はどうしているか。

**健康づくり課 課長** 支援や見守りが必要な世帯は、定期的な訪問等を行っている。生活の困窮やネグレクトが理由で十分に食事がとれてない様子があるときは、保護者と協議したり、食糧支援の相談にも応じている。長期休暇等によって家庭の生活リズムが変わることによる問題も生じてくるので、関係機関と連携して、必要な支援の把握に努めていきたい。

**問** 女性支援法の対応は

**答** 内容を精査しながら対応を考えていきたい

**議員** 令和6年4月から施行される困難な問題を抱える女性支援法は、貧困や性暴力で行き場を失った女性の公的支援を明記したものです。市町村も、心身の状況等に応じた多様な支援を包括的に提供する体制を整備することが求められているが、本町の対応は。

**町長** 国の基本計画、県の基本計画の順で出来上がるので、内容を精査しながら町もその

計画に沿った形で対応は考えていきたい。



他に地方再犯防止推進計画について質問しました。



**問** 道の駅は将来の町のシンボルとなる、独自の企画とスケジュールは  
**答** 他に無いような道の駅を目指す、3月議会では企画を示したい

動画は  
コチラ



**議員** いつ出来上がるのかは町民の関心事、満足度の高い独自性のある企画はあるのか。SDGsにかなった内容も取り入れ、ヤングやシニアの意見も反映してほしい。

**町長** スケジュールでは、法的なクリアをし、各上位行政に対しての許可申請を行っている、今後は事業認定、開発許可と進めます。

道の駅一つで地域がすごく変わる事例もある。川崎町も独自性を持ったほかには無いような道の駅をつくりたい。

川崎町はパン博で有名である。東京のほうの有名パン店に話をし

て、パンを通じた地域づくりを目指したいと考えている。

次の3月議会には、お知らせできるだけの情報を発信したい。



▲多くの人でにぎわうパン博

**問** 町との取引業者の審査では「戸籍謄本の添付」はしないのか

**答** 政治倫理条例上の事であり議員自らが律することが基本

**議員** 町と取引をする建設、燃料、事務用品などの業者の代表者は議員の1親等は不可とある。指名受付の際、代表者の戸籍謄本の添付はやらなかったのか。

**町長** これは、議員自らが決めた「政治倫理条例」がありますので、それは議員自らが判断し処理をすることだと思っている。

動画は  
コチラ



## 問 不登校の児童・生徒にどの様に関わっていくのか 答 小さな芽を摘み取らず、育てる政策を



おおききよ  
松岡久代 議員

議員

不登校児童の人数と今後の指導について尋ねる。

教育長

不登校児童は、令和5年11月時点で小学校67名、中学校56名。指導については、学校だけでなく、子育て支援センター等の関連機関と連携し、家庭訪問やケース会議を行う事で要因を分析し、学校生活の安心感や居場所があるという事を理解してもらえよう取り組みに重点を置き、行っていきたいと考えている。

議員

「子どもは未来の宝・財産」と言われているが『Re Born!KAWASAKIMACHI、人を育み、町を創る。10年先も住み続けたい町へ』という標語は、ど

の世代をターゲットにしているのか。

町長

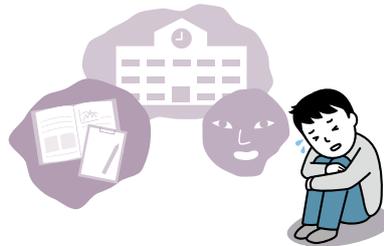
町の総合計画・都市計画マスタープランの標語であり、全ての町民をターゲットにしている。

議員

これから先の本町の展望を尋ねる。

町長

学生や未成年の方々に是非とも住んでいただきたい。そして、日本・世界を代表する様な子どもを本町が育てていきたい。



## 問 小・中学校の学習状況を問う

答 常に質の高い教育を目指す

議員

令和4年度、川崎町内小学生の全国学力状況調査の結果を見て愕然。対策を尋ねる。

教育長

学力の向上は教育委員会の使命。常に学校と連携を行うことで教育施策を行う。



動画は  
コチラ



## 問 役場窓口における申請方法の改善を 答 更なる住民サービスの向上を調査研究していく



やましたみつほ  
山下美穂 議員

議員

役場窓口での証明書の請求等届出をするとき、書くところが多く、お困りの声をよく聞きます。署名だけでできる申請方法にできないか尋ねる。また、将来的な申請方法の構想などあるのか。

住民課長

記入等が困難な方は職員がサポートをし、署名のみで完了できるようにしている。今後はIT機器を使用することを含め、更なる住民サービスの向上を調査研究していきたい。

届出・登録・証明



## 問 日常生活の健康の悩みへの対応は

答 「保健なんでも相談」を実施

議員

日常生活の中で健康上の悩みについてどのような取り組みがあるのか。

健康づくり課長

保健センターでは、「保健なんでも相談」を実施している。また、総合健診を受けた方に個別面談を行っている。75歳以上で5年間健診を受けていない、介護サービスを利用していない、病院受診履歴のない方には、個別訪問を行い健康相談等もやっている。

## 問 体の悩みに関する講演会の開催は

答 前向きに検討する

議員

家族や友人に相談しづらい排尿の悩みなどの講演会の開催はできないか。また、「悩みの対処法」を広報紙に掲載し周知することができないか尋ねる。

健康づくり課長

講演会については、前向きに検討していきたい。広報紙の件ですが、定期的に症状にスポットをあて周知することも検討していきたいと考える。



さくらい ひろし  
櫻井英夫 議員

## 問 町内4地区の均衡とれた開発を

## 答 旧鷹峰中を生かせる道路整備を考える

動画は  
コチラ



議員

町の中心部、川崎地区の開発が遅れていると感じます。

旧鷹峰中の再利用も進まず、再開発計画を立てるべきでは。

町長

大峰地区再開発は総合計画、総合戦略にのっとり、見直し作業を行っている。旧鷹峰中の活用は、道路整備を進め、企業誘致に努める。

### 問 内閣府構造改革特区制度の活用を

答 必要性の有無を見極めたい

議員

国の構造改革特区制度を使い通信制高校を誘致し、成果を挙げている。これを活用し、

自家製ワインをDe・愛で販売できるようにしては。

町長

興味はあるが、何をやるかという段階ではありません。何がしたいから特区を利用するということが大事と考える。

### 問 人口増、定住促進につながる教育施策の推進を

答 責任を持って取り組んでいく

議員

町制80周年記念で郷土読本を発行しているが、いくらで何部作製し、その後の活用はどうなっているか。

教育長

約600万円で3,000部作製。郷土の魅力や歴史を知る資料であり、小学校中学年

を中心に地域学習に活用している。

議員

「令和4年度教育事務の管理及び執行に関する点検評価」は\*社高学低の評価で、特に家庭学習への支援策が重要課題となっている。具体的対策は。

教育長

保護者へ子育てや教育についてパンフレット等で情報提供、乳児健診時には絵本のプレゼントをしている。学校ではスクールカウンセラー等を活用した相談体制の充実を図っている。

\*社高学低とは、社会教育の評価は高く、学校教育の評価が低いの意



すぎもと かずひさ  
杉本数政 議員

## 問 道の駅建設の状況は

## 答 実施計画の策定に向けて取り組んでいく

動画は  
コチラ



議員

2021年3月の道の駅基本構想では、コメリ裏での計画でしたが、今現在の計画地での基本構想、基本計画は。

町長

現在の計画はリンクの裏です。基本構想等・基本計画を参考にしながら実施計画の策定に向けて取り組んでいる。

議員

道の駅の規模や、予算額は。

町長

規模は約2万7,000平米、建築に関する予算等はまだ決定していない。

議員

道の駅の用地買収の進捗状況は。

町長

道の駅は県との共同事業なので借りるということではなく、全て買収するということになる。

買収する時期は、事業認定をもらったからの用地の買収となり、地権者の方々には了解は受けている。

議員

建設予定地の近くには商業施設があり、販売業からは、川崎町の発展を喜ぶ声がある一方、道路状況、売上げの減少等多少の懸念材料があるとの声がある。

町長

今後説明の場を設ける予定は。いつでもおいでいただき、要望書を上げていただき、検討していきたい。

議員

遺跡調査の現状は。

社会教育課長

現在試掘は終わり、これから本調査に入る予定です。

議員

農家の方々への土地ないし補償は行わないとの話がついているのか問う。

町長

建設に当たっては補償はしないという内容で了解をいただいている。

議員

本町目玉の道の駅計画、ぜひ未来の負の遺産にならぬ様、どうぞよろしくお願ひします。町長就任後、ハラスメントに対する報告事案はあったのか。

町長

町は色々な問題を抱えており、ハラスメント関係は総務課で対応している。内容が過度な場合は、諮問委員会にかけることになり、私が就任してからは1件だけ諮問委員会にかけた事案があった。

# 委員会レポート

## 委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



## 建設産業常任委員会

### 道の駅に向けての準備を

現在の農業の状況、課題について説明を受けました。

町の農業生産力を上げることに、行政側もいろんなところに研修に行ったり、いままでやっていない新しいことをするなど取り組んでもらっている。また後継者問題についても、これから農業を目指す、次の世代の人たちが生活していけるようにすることが大事なので、双方勉強しながら取り組んでいきたいとのことでした。また、これからの展望を考えるための資料として、川崎町の農業総生産、これらの量と金額との資料を作成して欲しいと要望しました。

### 解体後に改めて協議を

城山子どもの森公園については、現状を回復させて使用するには、かなりの費用がかかるので、その考えはないということでありました。しかし焼却場が1年半後に解体予定なので、その場所の活用とあわせて構想していきたいということです。委員会としては、焼却場の解体後に、その土地の活用について執行部より構想が出たときに、改めて調査などを行う予定です。

### 道の駅のメインとなる商品

観光リンゴ園の経費について調査を行いました。

委員会からは、今後の観光リンゴ園について尋ねたところ、現在リンゴ栽培の委託をお願いしている方とも話し合いを持つなどして、きちんと考えているとのことでした。川崎町にとって、この観光リンゴ園のリンゴというのは、将来できる道の駅のメインとなる商品でもあり、今後の川崎町の戦略に関わることであるので、あの味が、そして川崎町のリンゴが途切れないように今後とも考えてほしいと要望しました。

### 行政視察報告(宮城県大郷町、蔵王町)

大郷町では、農産物加工品などの開発・製造についての行政視察を行いました。

この開発センターは、大郷町の地場産業や各種施設、イベント等の地域資源を総合的に管理し、それらの有機的な結びつきを強め、効果的な活用を図るための施設です。

地場産品の商品開発を行うことは、町のPRになることはもちろんのこと、地元の農産物の認知度を高め、それが農産物の生産量を増やし、そして地域社会の活性化にとっても、非常に大事なことであるということを感じました。

次に、蔵王町では、「蔵王ブランド」制度についての行政視察を行いました。

「蔵王ブランド」は、品質ブランドから地域ブランドへの見直しを現在進めているそうです。

ここでの視察で感じたことは、蔵王町は、全国的にも知名度のある町であり、農産物についても品質のよいものが作られているにも関わらず、町の知名度をさらに向上させ、観光や物産の振興並びに生産者の意欲を高め、地域経済の活性化につなげていくその取り組みは、自治体、関係団体、そして生産者が協力して行うことが必要不可欠であり、そこに参加しているすべての人たちの意欲、気持ちが非常に大事であるということでありました。



▲蔵王町



# 総務常任委員会

## 制限の中で魅力ある取り組みを

### ふるさと納税制度

平成28年から、地方と大都市の格差是正の目的で始まる。  
 令和元年度に返礼品を「寄付額の3割以内」「地域での生産」と定められる。  
 令和5年10月、「募集に要する費用を寄付額の5割以下」「加工品のうち熟成肉と精米について原材料が県産であること」「地場産品セットにする場合地場産品の価値が全体の7割以上である事」と改正された。

改正後、川崎町が最も受ける影響は、事務用品を含め経費は5割以内と改正された点で、返礼寄付額を上げるか、返礼品の単価を下げる必要があること。

寄付額を増やす取り組みとして、「返礼品の口コミに丁寧な返信を行う」「写真やイラストの刷新」「都市部のタワーマンションへのポスティング」を行う。その他、還元型クラウドファンディングを検討。

※川崎町の最高寄付金額は、令和2年度、7億3,414万円

## ふるさと納税と防災の取り組みを学びました

### 【恵庭市】ふるさと納税の取り組みについて

制度運用開始から順調に伸び、令和4年度の寄付金額は、24億8,700万円。サッポロビールに関連した返礼品が全体の約70%を占める。寄付額増加のため、ポータルサイトや返礼品数の増加、各種広告の実施を行い、リピーター対策として定期的にメルマガを配信、時季に応じた返礼品を紹介することで定期的に思い出して頂き、寄付につなげる取り組みを行っていました。

中でも恵庭市内にあるゴルフ場で利用できるチケットをふるさと納税の返礼品としており、川崎町にもゴルフ場があることから利用チケットの返礼品は大変喜ばれるものだと考えます。

各自治体の寄付獲得のため競争が激化していますが、大事なことは、新規寄付者はもちろんですが、リピーターであり、寄付していただいた方が「川崎町を忘れない」よう取り組むことが重要だと感じました。



### 【長沼町】防災の取り組みについて

長沼町は海拔4メートルから5メートルと低い位置にあり、三方を川で囲まれていることから、水害には十分な注意が必要であるとの事。避難情報の発令や避難所の整理・運営を行う自主防災組織が必要とし、平成27年に各行政区に役員として防災部長の設置をお願いし、2年後の平成29年には全行政区に防災部長を設置。「防災部長必携」を配布しその任務を引き継いでいるとの事。

また、一行政区をモデルに指定し、地区防災計画の作成をお願いしたそうです。町の防災計画よりも具体的なものができるため、密着した防災活動の実施と町の支援について、個々に入っていくという取り組みを行っていました。

川崎町と同様、高齢化が進み、高齢者を高齢者が助けるという状況で、それに対応した組織づくりも必要になってくるということで、現在ではなくなりつつある地域コミュニティが災害が起きても最小限の被害に抑える重要な役割を果たすことだと改めて感じました。





# 民生文教常任委員会

## 先進地にて「介護・生活支援事業」と「GIGAスクール構想」について学んできました

鹿児島県さつま町で「介護事業・日常生活支援事業」の先進地視察を行いました。町は訪問型サービス、通所型サービス、介護タクシーなどの提供、包括支援センターでは認知症カフェや介護者が集まり情報交換ができる場所づくり、社会福祉協議会では地域での支えあいのネットワークをつなぐ役割に励むなど、各部署がそれぞれ協働して一体的な取り組みを推進していました。

垂水市では「垂水らしいGIGAスクール構想について」研修を受けました。

特徴として 1.「持ち帰り前提」の端末整備、2.生活面でも活用、3.AIドリルの導入、4.遠隔授業による交流促進の4つの推進目標を掲げ取り組んでいます。それぞれの取り組みに対して市に合った、また先を見据えた取り組みをしていました。また、教育委員会と学校現場とが一丸となって推進していくという気概を感じられました。



▲さつま町



▲垂水市

## 児童生徒の欠食・不登校の現状は



**欠食** 「朝食を毎日食べていますか」のアンケート結果

▶「食べていない」「どちらかといえば食べていない」の割合が国・県より10ポイント多い

**対策** 給食センターの栄養士や各学校で朝ごはんの大切さの啓発

**不登校** 令和4年度 小学校76名 中学校61名 理由のほとんどが生活リズムの乱れ、無気力等

**対策**

- 不登校を未然に防ぐため不登校ぎみ、休みがちな児童には積極的な声かけ
- 不登校児童には教室への復帰支援として、福岡県立大学と連携したり生徒指導担当者会を設けるなどの取り組み

## 認知症の理解を深める

川崎町の認知症者数 **653人**

自覚のない方、病院にかかってない方など町が把握できていない人を含めるともっと多くの方が認知症を患っていると思われます。



**対策**

理解と知識を深めるため啓発

- ・ 広報紙に掲載したり認知症ハンドブックを窓口で配布
- ・ 小学校で高齢者の疑似体験をする授業 など

認知症者への対応

- ・ 包括支援センターに「認知症地域支援推進員」を配置して実情に応じた施策の取り組み
- ・ 認知症初期集中支援チームを田川市の見立病院に業務委託し、認知症の方やその家族へ訪問、サポート

委員会から

- 相談に行きやすくなるように、高齢者福祉課や包括支援センターの取り組みをもっと町民へ周知してほしい
- 地域の民生委員や区長などからも困りごとを抱えている方の情報提供を求めるなど、現状の把握に努めてほしい

今回の  
主人公



川崎町消防団団長  
中村 法久さん



団長としての思い

地域住民の生命、財産を守る



川崎町消防団の自慢、職務への誇り、喜び

消防団は一致結束。  
災害の無い平和な日が続く時。



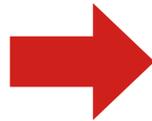
課題、悩みなど

新入団員が少ない。  
したがって団員の減少になっている。

今号から一般質問のページに2次元バーコードがつきました  
バーコードを読み込むと動画で一般質問が見られます(P8~P12)



気になる議員の  
2次元バーコードを読み込む



質問・答弁を動画で見よう!

編集 後記



今回の議会だよりの編集に取り掛かったのは12月、新しい年を家族で迎え、楽しいひと時もつかの間、一瞬にして目にした光景を誰が予測をしたでしょうか?出初式での寒さは、能登半島地震で被災をされた皆様の心と体の寒さに比べれば足元にも及ばない。この議会だよりが届く2月、今より笑顔が増えますように。

- 発行責任者
- 議長 大谷 清
- 「広報広聴常任委員会」
- 委員長 中山 信和
- 副委員長 手嶋 真由美
- 委員 櫻井 英夫
- 委員 寺田 康
- 委員 見月 秀一
- 委員 樋口 隆